

## VMAT 治療計画実習講習会 参加記

京都桂病院 放射線治療科

高倉 亨

わたしは平成 28 年 2 月 6~7 日に、バリアンメディカルシステムズ エデュケーションセンターで開催された、「VMAT 治療計画実習講習会」に参加いたしました。

実は、参加するにあたり大きな不安がありました。それは、導入する治療計画装置と講習で使う治療計画装置がことなることでした。しかし、経験豊富な講師の先生がたの講義により、その不安は払拭されました。簡単な操作方法のレクチャーや、治療計画装置に特化しない内容も組み込まれていたからです。

わたしの稚拙な文章では伝わりきらないと思いますが、講習内容とその感想を述べさせていただきます。

最初に、「Eclipse のつかいかた」を 30 分ほどレクチャーしていただきました。講習会で使用したのは ver. 11 であり、3 年ほど前に前職場で触っていたバージョンからインターフェースごと更新されていましたので、この内容はすごく助かりました。

そのあと、「TG-119 の ROI を用いた VMAT 治療計画実習」に続きます。ここでは、講師の先生から「目標数値をクリアしていても、良い線量分布とは言えない！」との一言がもっとも印象に残りました。また、“キレ”の良い線量分布を作成するための Tips もここで教えていただきました。比較的簡単に計画を考えられるシンプルな ROI のうちにこれらを教えていただいたことで、理解も深まりました。

昼食をはさみ、次は「臨床画像を用いた VMAT 治療計画実習」が始まりました。前立腺と頭頸部が用意されており、参加者が自由に計画しながら、講師に質問をするスタイルでした。ターゲットが複雑で optimize 用の ROI の作成にかなり難儀しました。午前の Tips をここで説明されると煮え詰まった頭にすんなり入らないと思います。講師の先生がたはプログラムの構成をうまく組み立てられていると感じました。

1 日目の講義が終わり、懇親会に参加いたしました。ページの制限がありますので割愛させていただきますが、どおしても一言だけ。「愉しかったです」。

2 日目は前日に続き、「臨床画像を用いた VMAT 治療計画実習」です。当初、ピックアップ症例のプレゼンが組み込まれていたのですが、講師の先生が参加者の必死で計画を立てている姿を観られ、時間いっぱいまで自由時間にしていただきました。その間も、参加者が困っていないか目を配らせている先生をつかまえ、いろいろ教えていただきました。

2 日間、内容がいっぱい詰まった講習会でした。これは臨床現場で活躍されている講師の先生がたが企画された講習会だからです。次もぜひこのような講習会を開催していただきたいと思っています。

最後になりましたが、講習会参加補助をいただき、また本講習を企画していただきました医学物理士会の皆様に感謝いたします。